



「虹色の明日へ」～特急ひたちと新地発電所～ 常磐線 駒ヶ嶺ー相馬（福島県相馬市）



「朝を拓く列車」～旧新地駅から望む新地発電所～ 常磐線 新地（福島県新地町）

このたびは、相馬共同火力発電株式会社 創立 40 周年に際し、記念絵画を描かせて頂き、さらに、このような作品展の場を賜り、心より御礼申し上げます。当作品展では、記念絵画の3作品をはじめ、常磐線、福島、東北各地の鉄道風景を約50点出品いたします。力強さと優しさを併せもつ鉄道の営みは、四季折々の光彩の中で、日々、その土地にリズムと安心感を運んでくれます。そうした「鉄道のある風景」ならではの横顔を、少しでも味わって頂ければ幸いです。 松本 忠

*相馬共同火力発電株式会社は2021年6月1日に創立40周年を迎えました

主催 相馬共同火力発電株式会社 後援 相馬市、新地町

相馬共同火力発電株式会社 創立40周年記念
鉄道風景画家 松本忠 作品展

「常磐線と東北の鉄道風景」

会場 相馬共同火力発電(株) 新地発電所内「わくわくランド」

福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字今神一番地一 ☎0244(62)4722

交通 新地駅よりタクシーで10分、相馬駅よりタクシーで15分

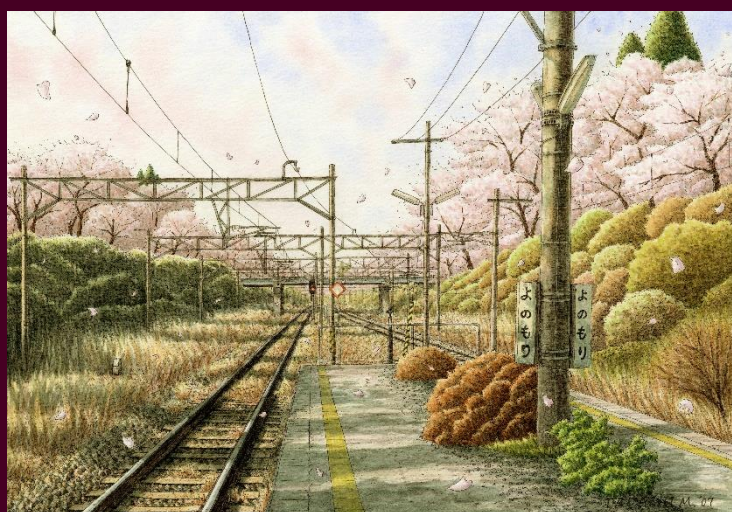
お車の場合は常磐自動車道 新地ICより約15分

会期 2023年 4月12日(水)～16日(日)

時間 午前10時～午後4時(※会期中作者来場・観覧無料)

16日(日)は午後2時半終了。午後2時半～3時15分、同会場で

詩人 浅田志津子(松本忠の妻)による「詩の朗読会」を開催。



「君と歩む春」 常磐線 夜ノ森（富岡町）



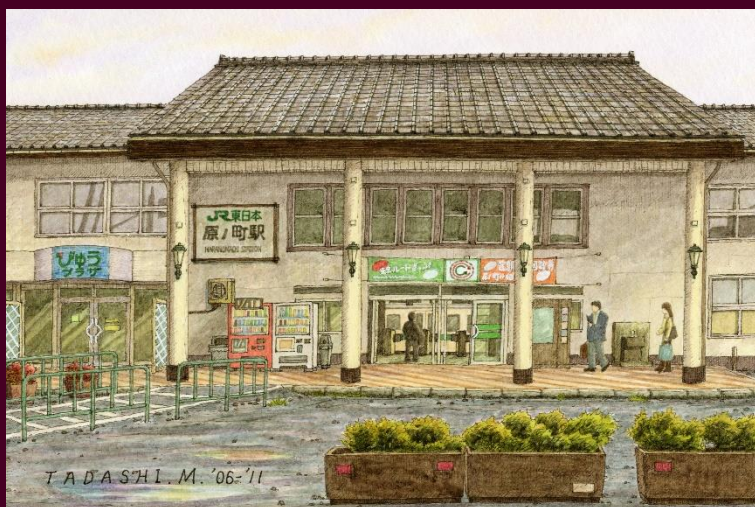
「夕刻の停車場」 常磐線 竜田（檜葉町）



「煙突望むホームにて」～初夏の新地発電所～ 常磐線 駒ヶ嶺（新地町）



「潮風の駅舎」 常磐線 富岡（富岡町）



「駅舎の記憶」 常磐線 原ノ町（南相馬市）



「途中下車の時間」 常磐線 広野（広野町）

松本 忠

1973 年生まれ。埼玉県出身。東北大学文学部卒。総合化学メーカー勤務を経て、2001 年から 05 年にかけて、鉄道の要衝、福島県郡山市を拠点に創作活動を行う。2002 年 12 月、サンリオ「詩とメルヘン」イラストコンクール佳作受賞を機に、各種出版物での連載や掲載、各地での個展が恒例となる。2011 年は東日本大震災以降開催の、年内全ての個展売上の 10% を被災地への義援金として寄付。2012 年以降、震災や水害で被災した鉄道、ローカル線の切符を大量購入し個展来場者にプレゼントする鉄道応援を始め現在も継続している。(2023/2 現在 10,936 枚)

◇松本忠 HP:「もうひとつの時刻表」
<https://senrozoi.com/>



浅田 志津子

教育・福祉関係のルポライター・詩人。少女時代の約七年間を南米で過ごす。上智大学比較文学部卒業。市区町村の広報誌、小中学校便り、日能研模試、朗読用教材、企業カレンダー等に数多くの詩を提供。2022 年春、最新詩集「どこかで読んだ詩」（さきたま出版会）を発行。

公式 YouTube「ぼえとれ Poetry&Train」にて作者自身による詩の朗読を随時公開。◇浅田志津子 HP:「夕陽色の詩集」
<https://shizuko.senrozoi.com/>



【会期中特別イベント】16 日(日) 14:30~15:15 同会場にて
詩人 浅田志津子による「詩の朗読会」を開催。(※入場無料)